

アウトドアと留萌(まち)の未来～モンベル誘致を目指して～

シリーズ② どうして留萌でアウトドア観光なの？ (前編)



「私を書きました！」
留萌市地域振興部
経済港湾課観光振興係
主事 片山 史麻

「どうして留萌市は“観光”にそこまで力を入れるのか。」「るもいは観光のまちではない。」「もっと今の市民を大切にしてほしい。」そういった声を市民から聞くことがあります。それは当然の反応なのかなと思います。

多くの人にとっての“観光”は、旅行先などでの非日常的な遊びというイメージがあるからです。しかし、実は留萌市が“観光”を進めるのは、観光客のためだけではなく、むしろ今の住民を大切にしていきたいという思いで進めているのです。

今、留萌市が直面している大きな課題である“人口減少”。留萌市民は、毎年約500人のペースで減り続けていますが、これに歯止めをかけるのは、とても難しい状況です。「自分には関係ない」「行政が考える問題でしょ」と思われる方もいるかもしれませんが、実は市民の生活に大きな影響を与える問題なのです。

Q. “人口減少”のどこが問題なの？

A. 図を見てください。人口が減っていくと、今住んでいる人も、どんどん不便になっていきます。そうすると、まちを出ていく人がさらに増えていく悪循環です。

不便なまちに住んでくれる人もなかなかいないため、地元から人は減るばかり。そうした状況に歯止めをかけ、人口を増やすのはとても難しいので、「代わりに地域の外から来る方々に、地元のお店や会社を支えてもらおう」というのが“観光”に力を入れる理由です。(続く)



“人口減少”が進むと…
(左図→右図)

お客さんが来なくなり商店や会社が更に減ってしまう…。買物できる場所や働く場も減り、まちが廃れていく…。

問 市・経済港湾課 ☎ 42-1840

災害への備え⑦

「冬期間の災害に備えましょう」

冬期間は雪崩や除雪中の事故、路面凍結による事故など様々な危険がありますが、とりわけ暴風雪は毎年多くの被害をもたらしています。

暴風雪による被害には、暴風による歩行困難、視界不良(ホワイトアウト)による歩行感覚の喪失の他、ふぶきや吹きだまりによる交通障害、着雪による家屋の倒壊など様々な被害が予想されます。

① 暴風雪の際の気象情報

気象台から暴風雪警報などの各種警報が発表される他、「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」といったキーワードを用いて気象情報が発表されることがあります。

暴風雪災害は、「風は強いけど晴れている」という状態から突然雪を伴って大きな災害をもたらすことがありますので、最新の気象情報や道路情報を十分確認しましょう。

② 暴風雪被害を避けるために

被害を避けるためにも、下記の情報をチェックしておきましょう。

○気象庁(警報・注意報、天気予報など)
<<http://www.jma.go.jp/>>

○北海道地区道路情報(国道通行止情報など)
<<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>>



問 市・危機対策室 ☎ 56-5005